

エジプト ヨーロッパのオレンジ減収はエジプトにとっての好機

FreshPlaza 2023年10月16日

エジプト産柑橘類の出荷シーズンが近づいており、キャピタルアグロ社の社長兼副会長であるモハメド・ワフエイ氏は、前向きな見通しを持っている(以下「」は同氏の発言)。「弊社のこのオレンジシーズンの見通しは楽観的である。ヨーロッパでは、雨の少ない天候で減少した域内供給に代わるものとして、エジプト産オレンジの需要が高まっている。スペインとイタリアでの約30%に及ぶオレンジ出荷量の大幅な減少は、その不足分を埋める機会を我々に提供している。今年は弊社のオレンジ取扱量の増加が予想され、3万トンに達するものと期待している」と述べた。

同氏によると、今年予想される販売量の増加には、それに寄与する特定の理由がある。「第一に、エジプト産オレンジの品質の高さは国際市場で好評を得ており、エジプト産への需要が高まっている。この肯定的な評判は、輸出量の増加をもたらした。さらに、スペインとイタリアでのオレンジ出荷量の減少は、供給ギャップを埋め、需要を満たすための市場機会を生み出した。」

今シーズン、同社の主たる目標は、様々な市場への輸出量を増やすことであると同氏は説明する。「北米、アジア、中東などの主要地域での存在感を高めることを目指している。さらに、各市場の特定の需要を満たすために、商品の多様化に注力している。柑橘類・生鮮果実業界は、販売戦略と成長傾向の変化を目の当たりにしている。有機栽培や持続可能な栽培方法で生産された果実に対する需要の高まりが観察されている。その結果、我々は持続可能な栽培方法に投資し、この傾向に応えるために関連する認証を取得している。さらに、デジタルマーケティングと電子商取引プラットフォームは、消費者に直接働きかける上でますます重要な役割を果たしている。」

ワフエイ氏は、キャピタルアグロ社は今シーズン、様々な新しいブランドを導入し、同社の品揃えに追加すると述べている。「これからのオレンジシーズンには、いくつかのエキサイティングな進展が計画されている。5つの新しいブランドを導入し、様々な市場向けに品揃えを合計12ブランドに拡大する。この戦略的な動きにより、提示する商品を多様化し、様々な取引先の好みに応えることができ、最終的には市場での存在感を高めることができる。さらに、カスタマーサービスへの取り組みは、顧客関係管理(CRM)・追跡システムの実装に反映されている。このツールにより、取引先とのやり取りを管理し、注文を追跡し、問い合わせや懸念に迅速に対処できるようになり、取引先に円滑な商取引を提供することができる。」

「弊社は、グローバルGAP、SMETA監査、SEDEX、GRASP、ISOなどの品質認証を取得していることに誇りを持っている。これらの認証は、農業生産工程管理、社会的責任、品質管理システムなどの分野における国際基準への準拠を証明するものである。ブランドの品揃えを拡大し、CRM・追跡システムを通じてカスタマーサービスを優先し、品質認証を維持することにより、弊社は次のオレンジシーズンへの備えができています。弊社は、取引先の期待に応え、高品質のオレンジを提供し、柑橘類業界での地位をさらに固めることに引き続き取り組んでいます。」

執筆者: ニック・ピーターズ